

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



▲ 遠くに琵琶湖が見えました。

天正を創始、信長が天下統一
 事業の象徴に据えた、城郭建築の
 手本
 天正4年(1576)に天下統一に向けて
 歩みを進めていた織田信長は琵琶
 湖の東岸に築いた標高約100mの
 安土山に城を築き始めた。
 この安土を築いた理由は琵琶湖の舟
 運を利用できることや上洛の拠点にするためと考えられる。

この城の最大の特徴は、
 「天主」を掲げたことにある。
 信長は天主を天下人の
 権威の象徴と位置付
 け、内外に金箔や黒漆
 を塗らんに用いた。
 絢爛豪華な意匠
 を施した。

安土城 滋賀県近江八幡市

近江山城を訪れる人が増えている。
 ほとんどの山城は建造物が失われ
 た遺構である。
 しかし在りし日の姿を想像しながら
 歩くことこそ山城巡りの醍醐味
 初心者でも安全に探訪できる。

兵どもの夢の跡を訪ねる。
 二大「山城」を訪ねる。



平成元年に始まった発掘調査で明らかになった
 大手道(安土城の中心)の石道(石段)が約100mに
 及ぶ。



▲ 土塁

▲ 山城の特徴有リ

古宮城址

長篠合戦の四年前
 武田信玄が命じて重
 臣馬場信春が古宮城
 を築いた。
 この古宮城は信玄
 勝頼は古田方面への
 進出はもろくも家康
 の息子信康が守った
 西三河の最重要城
 郭岡崎城への直接
 攻撃の足かきも確保
 した。
 家康信康が感して
 古宮城は想像以上に

